

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】令和4年9月9日(2022.9.9)

【公開番号】特開2021-38971(P2021-38971A)

【公開日】令和3年3月11日(2021.3.11)

【年通号数】公開・登録公報2021-013

【出願番号】特願2019-159421(P2019-159421)

【国際特許分類】

G 01 N 27/00 (2006.01)

10

A 61 F 5/44 (2006.01)

【F I】

G 01 N 27/00 H

A 61 F 5/44 S

【手続補正書】

【提出日】令和4年9月1日(2022.9.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

液体に反応して溶解又は収縮する材料を用いて形成されたシート基板と、
前記シート基板上に形成されたアンテナと、
前記アンテナに接続され、かつ、前記アンテナを介して無線通信を行う通信回路と、
を含み、

前記アンテナは、導電性インクで形成され、前記シート基板の溶解又は収縮に応じて電波強度が低下するように前記シート基板上に形成されている液体検知センサ。

30

【請求項2】

前記材料は、スチレン-ブタジエン-スチレンブロック共重合体、ポリスチレンイソブレンスチレン、ポリジメチルシロキサン、シリコーン、ポリスチレン、ポリメタクリル酸、ポリ乳酸、ポリ乳酸グリコール酸共重合体、ポリ酢酸ビニル、キトサン、アルギン酸、酢酸セルロース、ヒアルロン酸、ゼラチン、コラーゲン、ポリビニルアルコール、アルギン酸ナトリウム、ポリ(N-イソプロピルアクリラミド)、又はオブラーである請求項1記載の液体検知センサ。

【請求項3】

前記アンテナは、導電性インクで形成されている請求項1又は2記載の液体検知センサ。
。

40

【請求項4】

請求項1～3の何れか1項記載の液体検知センサを含み、
前記液体検知センサが、表面又は内部に取り付けられた、液体の検知対象である検知対象物。

【請求項5】

検知対象物での液体を検知するための液体検知システムであって、
前記検知対象物に取り付けられる、請求項1～3の何れか1項記載の液体検知センサと、
、
前記液体検知センサの通信回路との間で無線通信を行う通信装置と、
を含む液体検知システム。

50

【請求項 6】

前記通信装置による前記液体検知センサの通信回路との間の無線通信が途絶した場合、又は前記通信装置による前記液体検知センサの通信回路との間の無線通信における電波強度が低下した場合に、前記検知対象物での液体を検知したと判断する情報処理装置を更に含む請求項5記載の液体検知システム。

【請求項 7】

前記検知対象物は、おむつである請求項5又は6記載の液体検知システム。

10

20

30

40

50